(1) 月刊（除月曜） 昭和21年6月1日（第三種郵便物認可） 昭和24年2月23日 運輸省特別扱承認第218號 いわき民報 夕刊 昭和26年1月17日 （水曜日） 第1428號

いわき民報
發行所
平市田町48 電381 176 1222
いわき民報社
編集兼發行印刷人 田原登

水道管四十七ヵ所破裂
寒波來に水道課轉手古舞

十五日以來の寒さが余りにキビしいので十六日朝には平市内だけでザット四十七件にのぼる水道の氷結による鐵管の破裂、蛇口の破損、水の出ないもの等の事故個があり普通の日の十件乃至十五件の二倍以上にのぼつて修理に市土木課水道係員は轉手古舞である、石城地方事務所では水管の破損で二階を逃つている鐵管から水が流れて民生課は手もつけられない程の大水に所員もてんやわんやだつた市土木課長談＝寒さがキビしいので事故も多くなつたが藁、繩等で地表に出ている水道管は保護させる様にして事前に對策を構じてお 樣にしてもらいたい

各地で成年式
好間村は十四日擧行

好間村では十五日成人の日を一日繰上げ十四日午前十時から好間村第一小學校講堂で成年式を催行、同村内の該當者五百名參集し鈴木村長、大河原青年會長連名の成年證を授與され、終つて成年祭としてのど自慢大會を開き盛況だつたが成人として誕生した希望のひとみがそれぞれ輝いていたこの外各地で十五日この成年式を擧行した

上は優勝の常磐A組 下はゴールイン

助役と收入役
川部村で決定

川部村では十五日臨時村會を開き、缺員中だつた助役に元收入役園部雅美氏、收入役には現村議田子勝一氏が現職を辭して就任することに決定した

小名濱町會
十七日開く

小名濱町會は十七日午前九時より開き追加更正豫算、共立住宅使用條令の設定など七件を審議する

快記錄樹立 常磐A組優勝
恒例の片濱廻り競走終る

恒例の新春を飾る陸のスポーツ大繪卷―磐城スポーツ連盟陸上部高体連石城支部、石城連合青年團共催の『第四回片濱廻り驛傳競走』は十四日常磐炭礦A、同B、同茨城、古河炭鑛、日本水素小名濱、磐高、平工高の八チーム參加の下に華々しく擧行された、此の日午前十時號砲一發地軸を蹴つて平市常陽銀行前をスタートした各チームは折からの赤井オロシを衝いて磐城片濱路（平―湯本―小名濱―江名―豐間―夏井―草野―平）四十四キロ走破の火蓋を切り、優勝候補常磐炭礦Aは豫想にたがわず第一區からトップを持續、第二區に新記錄（工藤31分16秒）を生むなど壓倒的强味を發揮してついに2時間29分13秒と昨年度の記錄（常磐Aの2時間30分22秒）を1分9秒短縮する快記錄を樹立、磐城陸上界萬丈の意氣を吐いた、成績次の通り

▽1、常磐A（中村、工藤、佐藤、大場、御代、高橋）2時間29分13秒＝新記錄＝▽2、磐高（平田、遠藤、鈴木、戸村、松崎、鈴木茂）2時間35分31秒▽3、平工2時間39分23秒▽4、常磐茨城2時間39分50秒▽5B常磐2時間41分22秒▽6日本水素小名濱2時間41分31秒▽7古河3時間4分◇區間個人新記錄 工藤智義（常磐A）31分16秒、鈴田豐（常磐茨城）32分24秒

針はオルガン ミシンはツガミ
月賦現金販賣
鈴木ミシン商會
平市白銀町電一〇九八

役員を改選
小名濱漁業會

小名濱漁業會では臨時總會を十三日午前九時より縣水産試驗場二階に開き、役員改選を行い爲役員に理事小松松吉、監事高木嘉一郎の兩氏を補充していずれも留任、次の漁業權監理委員を選任した 永山辰之助、白井四郎、田島茂大、高橋鐵次郎、熊谷惠二郎、小野豐太郎、渡邊由之助、吉田子之助、小松林爾

人事 平保健所總務課長鈴木吉人氏は今回着任

競輪宣傳塔を建設
平驛前と大通りに

平市競輪室では二月七日から開催の競輪に對する宣傳として平市驛前平大通りの眞中に高さ三十尺、面積七尺四方の宣傳塔を建設することになり目下十万円を投じて着工中である

この宣傳塔は夜間も宣傳がきく樣に電氣で飾り付けることになつている

自轉車振興會
幹部挨拶廻り

社團法人縣自轉車振興會理事長小川直吉氏、小野庶務課長平塚專務理事は平競輪開催について十六日各方面に挨拶廻りした

大羽イワシを水揚げ

小名濱町竹町伊藤房饒氏所有共德丸（一五トン）は十五日夕刻小名濱五、六マイル沖合に大羽イワシ約三百貫を漁獲水揚げしたが、珍らしい大羽イワシは貫當り二百六、七十円で飛ぶように賣れ切れ今迄のセグロイワシは度々揚つていたが待望のオオバイワシがみせ初めたというので十六日には共德丸、壽和丸、勝丸など大擧イワシ揚繰船が一齊に出動した

十八日迄完遂
供米98%へ

神谷、飯野、地區では十六日それぞれ供米を完遂した 神谷の割當は六千二百七俵 飯野は九千五百四十俵、これで平市の割當六千七百七十七石は全部で完納したワケ、なお大野村の四千五百五十石、大浦村の四千六百石はここ兩日中で完遂の見込み、郡下の七万九千四百六十七石は今九十八％迄こぎつけ十八日までには完遂する豫想にある

湯本中講堂
來月に着工

湯本中學校講堂新築は總工費百九十万円、建坪百四坪で二月上旬着工、五月二十一日竣工の見込み

沃野短歌會

湯本町沃野短歌會は沃野選者蹈和夫氏が中心になり二十一日午後一時から磐崎村上湯長谷湯風莊に開催近詠一首を持ちより批評會を行う

米四十五俵を押收
列車を急襲二名送檢

平地區署では十五日常磐線上り二二一列車（平發一時二十分）に原町から二名が警乘し主食物取締りを行い無主物九六個、計四十五俵を押收した 惡質者として宮城縣亘理郡山下村坂元原農業寺島十秋（二六）外一名を身柄留置書類送檢した

十万圓盗まる
湯本旅館に宿泊中

富岡町小濱字靜五八富岡地區一町六村味噌醤油商組合專務理事小貫正（二七）さんは十四日夜一行六名と湯本町三函山形屋旅館に宿泊中鞄の中から九万八千円を盗まれ同町署に届出た

十万圓盗難

内郷町内町字御田三二常磐炭礦勞務係宮川哲成（三三）さん方では十三日夜十時ころから翌朝六時ころまでの間に腕時計一コ衣類二十一點計十万円相當を盗まれた

小名濱漁協
組定時總會

小名濱漁業協組では去る十三日午後一時より縣水産試驗場に定時總會を開き次の如く決定した

冷藏施設の建設に伴い九三万五千円の出資金を更に二百万円に增資し、借入限度一億円に切上げることに決定後役員の改選の結果次の如く三代組合長を再選した

△組合長 三代榮勝

◇理事、齋藤誠吾、小野松太郎、野崎良行、小野源右ヱ門、澁谷岩夫、水野良吉、田島茂夫、立瀬勇

△監事、比佐政實、蛭田充雄、草野增太郎

重輕傷二名
古河に落盤

十五日午前八時半ころ好間村古河炭鑛南鑛右二壁コンベア拂いに落盤があり作業中の採炭夫加藤任臣（二四）さんは腰部に全治一年半を要する重傷、採炭夫高橋運次（三六）さんは三週間の輕傷を負つた

主食の未登錄者は市へ

平市内で十五日一齊に主食の登錄を行なつたが當日登錄を行なわなかつた者は購入通帳と印鑑を持參して二十一日までに平市商工課で登錄する樣に

天眼鏡

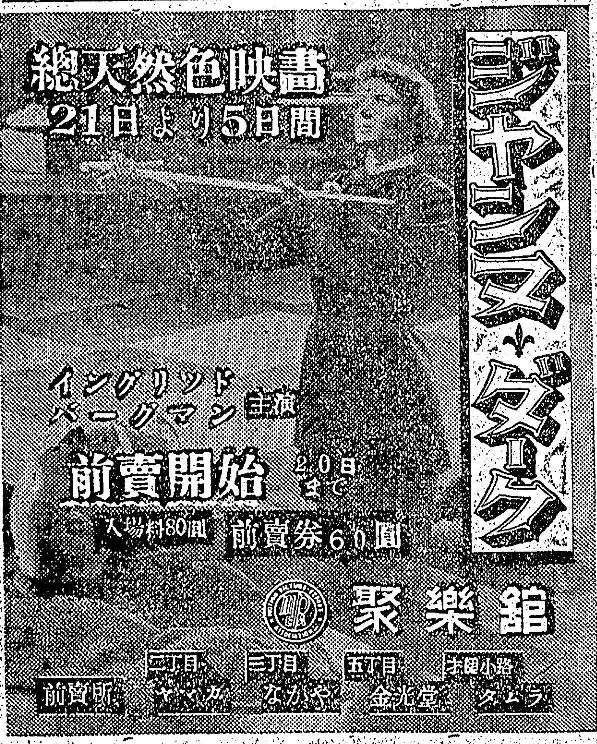
▽大人になつた喜びの日を成人の日と決めて十五日にどこでも成人式を擧げた、軍國時代華やかな頃の兵隊檢査とは意味が違つて市民に大人になつた責任感を與える一つの轉機でもある▽こうしたケジメがなければいつまでも子供では無いと云う認識を得るのでこの成人式は一つの精神運動でもある▽處が平市では去年も今年もこうした式を擧げない競輪など金儲けにばかり沒頭しているのか精神運動の方はお留守である、精神運動の必要なことは現代ほど大切な時代は無い、これを放任していることは市を愛する所以ではないと思うがどうか

天氣予報 十六日

【今晩】北よりの風、晴時々曇山沿い地方は一時時雨【明日】北よりの風晴のち曇勝ちの天氣、海上は大体おだやかだが明晩は多少波立つ

トラック譲り度し
ニッサン 大陸型 現在稼業中 タイヤ堅牢
ご照會は電話（平）二五二番へ

好評嘖々!!〆切迫る!!割增金付…樂しみながら金が殖る
1月末日締切
勸銀紅白積金
毎月500円掛け1カ年滿期（中途内拂も出來ます）
お早くお申込下さい
日本勸業銀行平支店



ジャンヌ・ダーク
總天然色映畫
21日より5日間
イングリッド バーグマン 主演
前賣開始 20日まで
入場料80圓 前賣券60圓
聚樂館
前賣所 二丁目 ヤマカ 三丁目 なかや 五丁目 金光堂 本町小路 タムラ

▲▲音樂個人教授案内▼▼
種目 ヴァイオリン 聲樂 樂典 作曲學
教授日 毎週土曜日（午前八時より午後六時）
申込所 平市醫百貨店樂器部、菊屋樂器店又は直接
平市醫百貨店階上
小名濱町須賀川 青葉樂莊
（ピアノ オルガン 各種樂器調律修理引受）

大衆食堂
新築落成開店
皆樣の明るい靜かな大衆食堂が落成開店致しました
氣輕くお家族連れにて御來店下さい
小宴會 商談 會合にはぜひ御利用下さい 御相談に應じます
出前迅速
富士食堂
平市聚樂館前通電六七七

ガソリンを呑み 火焔の柱
壯絶なる豪快實演
20＝26日
話題騷然たる!!
アメリカ行きを約された鐵の胃袋魔人颯爽公演
人間火焔放射
★東京慈惠醫大實驗證明
1 仁丹ケースにペン先と釘を入れて出す
2 白五黑五ケの碁石を呑み色別けする
5 五錢十錢貨を呑み計算して出す
9 ガソリンを呑み丈余の火焔を數回吐く
絶讃を浴びて火を吐く男
佐々支烽
遂に來演!!
同時上映
緋牡丹盗賊
嵐寛壽郎 喜多川千鶴 澤村晶子
入場料大人七〇円小人四〇円
世界館

莚旗の歴史（上）

高荻精玄氏の「岩城史を讀む」

高木稻水

昨年も押しつまつた暮の三十日、會社の事務もおおかた片附いたので新年の讀物でも探そうと思つて鍛冶町の海外協會圖書館に行つて見た。店頭に大きなこり包が積み重ねてある。奥の方を覗いて見たら志賀哉君がいる。「このこり包は何です。何か出版でもしたの」と聲をかけて見たら白い表紙の「岩城史」という眞新しい本を手にして出て來た、久し振りに商賣氣分から離れてゆつくり味わつて見ようと思つて早速持つて歸つた元日の晩、子供たちが寢てしまつて靜かになつたのでこたつの上にひろげて讀み出したら頁數も少ないし活字も大きいので忽ち讀んでしまつた。本を閉じて、朝鮮事件、日本再軍備、今春行われる地方選擧等に思を馳せ、我々磐城人には惡政に對しては莚旗を押し立てて敢然として抗爭した百姓の血が流れているのだと考えると實に感慨深いものがあつた。

神國日本と云う盲目的自負の念が敗戰によつて脆くも崩れ、その反動としてあらゆる日本的なものが輕蔑され破壞されて來た。しかし終戰後五年、まだ占領下にあるとは云え國民の生活が漸く落着きをとり戻してくると共にもう一度日本的なものの好さを見直せと云う聲がどこからともなく湧き起つて來ている。天野文相によつて投じられた國旗の掲揚、君が代の合唱、學校教育に修身科をとりいれようと云うような問題も期する所は忘れられていた日本的なものの好さをもう一度見なおせと云うことである。我々が自分の生活と云うものが現在に生きるばかりでなく我々の先輩の歩んだ過去の生活につらなり我々の子孫の將來の生活に結びつくものであるということを自覺するならば必ずや國家の將來を思い郷土の歷史を考え、その場限りの無責任な生活ができぬ筈であり　祖國愛、郷土愛の精神がおのずから生れてくる筈である。國史や郷土史の研究は單なる物好きからではなしに新らしい角度から見直されねばならなくなつてきておる。一九五一の年頭にあたつて海外協會の志賀哉君が「岩城史」を出版された事は以上の點において意義深いものがある。

「岩城史」はB六版、一五四頁の美本で紙質も好く十ポイント（五號活字に近い）で鮮明に印刷されてあり、最近の粗惡な紙に虫めがねで讀まねばならんような小さな活字を組んであるものと違つて頗る讀みやすい。はしがきに依ると「日本紙で表紙が二頁、目錄四頁、本文九六頁、草体」の筆寫本として由島村の志賀君の實家に所藏されておつたものを小名濱高等學校教官高萩精玄氏が嚴密に校定し、新制中學生が讀んでもわかるように讀みにくい漢字には振假名を史實の相違や難解な語句には校註を附して印刷したもので、高萩氏は磐中から京都大學の國文科に學んだこの道の專門家であるから從來の郷土史に見られるような誤謬誤植等はほとんど見當らない無論人間業であるからあらを拾つたら絶無というわけではないが少くとも石城郡や磐城史料叢書などのような誤植はない。本書の史料としての價値については私は批判する資格がないからここでは述べない。

本書の內容は『磐城次郎岩城に入る』から始つて磐城騷動の『巨料鞠問の上死罪に處す』迄の十八章から成つており、補として高秋氏が小名濱高校三年生鈴木圭子さんの宅から借覽した『奥州磐城系圖』に依つて補つたという井上河內守殿並安藤對馬守殿平へ入部の事』の一章が附載されている

ニセ鐵道員遂に逮捕

湯本を根城に詐欺を働く

去る十五日頃から湯本驛を根城に湯本或は棚倉自動車區助役と僞稱して巧妙な手口を用いて縣下各地で詐欺を働らいていたニセ鐵道員の新潟縣中頸城郡生れ住居不定前科二犯無職小林正司（二四）について縣下各鐵道公安室では搜查中の所、十三日夜八時頃白川郡塙出村食糧公團支所に現われて同所自動車運轉手郷某さんに對して「私は國鐵棚倉營業所の田中助役だがもつと良い職を世話するかどうか」と話しをかけたが郷さんは不審に思つて同營業所に問い合せたところが該當者が居ないために石川地區署に連絡、同日午後八時半頃なんなく同署に逮捕、身柄は郡山地區署に送致され同署で取調べを續けているが、平市近郊でも被害は十件位ある見込み

康進丸が坐礁大破

救助船出動し曳航

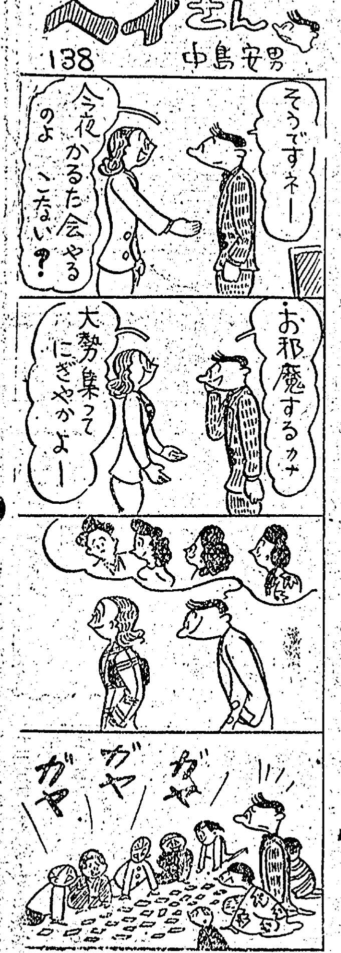
小名濱町字榮町佐川明さん所有底曳船康進丸（一八トン）乗組員十名は十五日午前五時ごろ豐間町鹽屋崎北寄り十米の沖で暗礁に乗上げ大破浸水、急報により小名濱港から巡視船〃うづら〃ほか四隻の救助船が出動、正午ごろようやく離礁、午後二時半ごろ水浸となつた儘〃うづら〃に曳航されて小名濱に入港したが損害約百五十万円の見込み

不良化防止の辯論大會

內郷で廿三日

內郷町公民館主催中學校不良化防止辯論大會は二十三日午後一時から淺野記念館に開催する

同町は少年犯罪では郡下隨一であり一カ月平均三十八人の少年犯罪者があり關係者一同の頭痛の種になつて居るので少年達の自主的な活動を基盤とした健全な育成を圖るためのもの


ヘイさん
138
中島安男
そうですネー
今夜かるた会やるのよ　こない？
お邪魔するカナ
大勢集つてにぎやかよー
ガヤ
ガヤ
ガヤ

縣廣報車十九日來郡

廿日　平小名濱で宣傳

火災豫防や農業共濟事業趣旨徹底について縣廣報車が縣下各地を廻つて來る十九日來郡するが日程は左の通り

△十九日上遠野村、湯本町（午後四時半）△廿日小名濱町（午前十時）平市（午後二時廿分）四倉町（午後五時）

新川町が優勝

東部青年會主催柔劍道大會

平市東部青年會主催の第一回柔、劍道大會は成人の日の十五日午前十時より平地區署講武德殿で開かれた、成績次の通り

△柔道團体　1新川町　2立町

△柔道個人　1益山刑事　2薬谷　3平田　4太田　5青木

△劍道團体　1新川町　2立町　3大町　4鎌田町

△劍道個人　1猪狩英祐　2青戸幸助　3佐藤一

總合成績において最優秀をおさめた新川町に市長杯が授與された

山下谷分校

開校式擧ぐ

川前小學校山下谷季節分校はかねて懸案中であつたが愈よ十六日から開校と決り十五日午前十時から關係者多數集會開校式を擧行した

何れも執行猶豫の恩典

本年初公判

平簡裁の本年初の判決言渡しが十三日行なわれいずれも初判決の恩典にて執行猶豫とされた

◇若松市甲賀町一二織物業鈴木龜太郎（五〇）は平市三丁目料理店米久から衣類五點（三千円相當）を盗んで懲役一年、執行猶豫三年の判決

◇渡邊村大字松小屋大平內一四農業國井信也（一九）は同字地內の同村農協組倉庫から玄米五俵一万円相當）を盗んで懲役一年執行猶豫三年の判決

羽黑照國一行來植

二月六日東京大相撲開く

東京大相撲の羽黑山、照國一行百二十余名は二月六日（舊正月二日）植田町小學校々庭で新春の巡業興行の蓋を開ける事に內定し勸進元は植田町大津辰雄氏で後援は本社及び郡下PTA會の豫定である、或は郡下PTA會が勸進元となるかも知れない、早くも好角連の血を湧かしている

植田小PTAで種々協議す

植田小學校PTA會では十五日午後一時より評議員會を開き本年度の研究會豫算編成に關し協議の結果原案通り可決した、終つて東京大相撲、羽黑山と照國一行が來る二月六日植田町に於く興行の豫定となつている郡下モデルPTA會が主催乃至後援の件に關し種々協議する處があつた

助成會に寄附

平市田町七二安齋徵氏は故長喜代子の遺志として十二日金千円を市民生業助成會に寄附した

脅迫犯擧る

◇內郷地區署では十六日內郷町綴字大木下二木材仲介業佐川次郎（四三）を住居侵入、脅迫、詐欺の疑いで檢擧した、佐川は八日午後六時ごろ好間村中好間字田中五九會社員木田彌之助（四二）さん方に無斷で入り込み「俺は柔道四段だ殺してしまうぞ」と脅迫更に去月二十七日ごろ同字牛貫澤農業木田葵（三〇）さんに木材の運搬をさせ、其の賃金千六百円を支拂わず詐取した外昨年十一月下旬ごろ同字田中七雜貨商木田タカヨ（四八）さんから燒酎二合、現金百七十五円を詐取したもの

◇下小川村下小川字前原無職鈴木均（二三）は昨年四月ごろ赤井村地內で同村下小川字寺內七西山義勝（一九）に對し「金を貸せ」とおどかしをかけ現金七百円を喝取したことがわかり十六日平地區署に捕まつた

巡回電氣相談車で宣傳

東北配電平營業所では十六、七日の兩日に亘つて江名町、好間などの各方部に巡回電氣相談車を巡して喝水期對策として一般電氣施設の相談一般電氣、器具修理、電球交換などの相談巡回を行なつている

盗難ひんぴん

◇湯本町笠井一材木商小井戸雅司（三四）さん方では十四日夜酒一升其の他、醤油、麥等千五百円相當を盗まれた

◇湯本町三函一九四菓子製造業赤津清五郎（五七）さんは十五日午後八時半ごろ同町八仙一飲食店荒川俊雄さん方前道路上で鍵をかけておいた自轉車七千円相當を盗まれた

◇小名濱町辰巳町金山銅材會社所有天救丸は十五日造船所附近に繫留中イカリ、ロープ四千二百円相當を盗まれた

風呂場を燒く

十四日午後二時半ごろ勿來町窪田大工小野千代太（四二）さん方風呂場から發火、風呂場一坪を全燒した、原因は煙突の加熱からで損害約三千円相當

ラジオ

JOCP　JOHQ

【14日】ローカル　郡山放送

前七・一五　あぜみち通信「土地改良區への組織變更」安積疏水組合阿部新次郎、郡山土地改良事務所深谷正助

後五・二五　子供の時間「劇　つるの恩がえし」郡山放送劇團

後六・三〇　レコードコンサート　解說　三浦通陽

質
平市大町　若松醫院東側通り　花澤質舖

定評ある大塚の靴
紳士靴
婦人靴
=高級品…格安=
大塚
平市驛前通り　電七七

洋品と家具は
なぜ丸三は賣れるか？
つねにお客様の利益をまもり
全商品最も安く賣るからです
=冬物豐富に揃えております=
植田町本町通
㊂洋品店

四倉濱名産
食膳に必ず一本
千鳥うに
發賣元　西川商店
四倉町

紳士靴
婦人靴
最新型豐富
スマートで安い靴は
品質本位　景品進呈
皆様の
三井百貨店靴部
平　電284

眼鏡專門
各眼科醫指定
玉屋
平市二丁目　電910

17＝19日
新東寶の冗談時代劇!!
女ぎらいの侠で著鬼娘彌九郎太の戀愛武勇傳
エノケンの豪傑一代男
榎本健一　山本照子
岡讓二　山本和子
【同時上映　天然色短篇漫畫】
（大映）　（新、姉妹）
平文化

ポスター懸賞募集
ひようたん印
強くてはきよい
ゴム長靴
☆規定　應募作品は返却いたしません尚版權は當社に屬す
☆寸法　四六四截判ケント紙
☆締切　一月卅一日
☆宛先　東京都千代田區紺屋町一〇　岡本ゴム工業株式會社　神田出張所宣傳係
☆賞金　一等　二萬圓　一名　二等　五千圓　一名　佳作　ひようたん印ゴム長靴　十名
☆當選發表　昭和二十六年二月末日本紙上に發表
左の商標と文字を必ず圖案の中へ使用のこと
岡本ゴム工業株式會社

耳鼻咽喉科
高柳醫院
高柳博明
平驛前（電一二一番）